

事務連絡  
令和6年11月6日

関係各博物館 代表者 殿

文化庁企画調整課

### 令和6年度 ミュージアム・パブリックリレーションズ研修の実施

文化庁では、学芸員の資質向上を目的とした研修事業についても、法改正の趣旨を踏まえた改編を進め、令和4年度より、文化をつなぐ研修、トップマネジメント研修、パブリックリレーションズ研修の3研修を実施しております。

このうち、博物館に勤務する学芸員等専門職員を対象とし、地域や社会との望ましい関係を創り出すため、広報発信・地域交流、地域課題解決、デジタル化等、これからのミュージアムに必要な知識・技能の習得を目指す「ミュージアム・パブリックリレーションズ研修」を下記の要領で開催することとし、受講者を募集します。

については、貴館において本研修への参加希望者がある場合は、応募者ごとに下記応募フォームへの入力を行ってください。受講の可否については文化庁において選考のうえ決定し、応募者に直接通知します。

### 記

1. 開催趣旨：ミュージアムの学芸員等専門職員を対象に、地域や社会との望ましい関係を創り出すため、広報発信・地域交流、地域課題解決、デジタル化等、これからのミュージアムに求められる役割に必要な知識・技能を培う研修を行い、博物館経営能力の向上を目指す。
2. 主催者：文化庁、国立アイヌ民族博物館
3. 対象者：博物館に勤務する学芸員等専門職員又は同様の職務を行う者
4. 実施期間：令和6年12月3日（火）～6日（金）（4日間）
5. 開催会場：国立アイヌ民族博物館（北海道白老郡白老町若草町二丁目3-1）
6. 実施方式：①現地参加（50人／全日程全科目の受講が可能な者）  
②講義科目のみの配信視聴（200人／部分受講可）

7. 研修内容：別紙のとおり

8. 申込方法：受講希望者本人が下記のリンク先にアクセスし，必要事項を記入する。

<https://forms.office.com/r/jYSVHbkwL0?origin=lprLink>

申込期限は，令和6年11月20日（水）12時まで

9. 備考：・受講決定は，11月20日（水）17時までにメールで通知を予定。

・現地参加の場合，全日程全科目の受講を修了の要件とし，部分受講は認めない。受講及び配布資料は，無料とする。

・講義科目のみの配信視聴の場合，受講は無料とし，パソコンの用意や通信に係る費用は，各受講者が負担すること。

・修了証は交付しない。

ただし，現地参加において全日程全科目を履修した受講済者については，当研修の修了者として氏名を文化庁ホームページに公表予定。

#### 問合せ先

文化庁 企画調整課 博物館振興室 研修担当（山口）

住所：〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電話：03-5253-4111（内線 3152）

E-mail: [museum@mext.go.jp](mailto:museum@mext.go.jp)



12/4(水)	時間/講演者	テーマ	概要
施設 見学	10:00～12:00	国立アイヌ民族博物館	
	13:30～14:30	ミュージアムのコミュニケーションデザイン	社会との関係性のなかでミュージアムの価値を再発見し、発信と交流により利用者や社会の認識を変えるコミュニケーションデザインについて実践的に解説する。
	シルベスタ典子 (オンライン)	キャンドルウィック株式会社 代表取締役社長	
	14:45～15:45	美術館のSNSマーケティング戦略	公式からの発信だけでなく、来館者をひとつのメディアとしても捉え、多様なファン層にアプローチしていく戦略的なSNSマーケティングの展開に学ぶ
価値 の認識と創造	洞田貫晋一朗 (オンライン)	洞田貫プランニングス代表取締役	
	16:00～17:00	ミュージアムは何のために存在するのか - 使命とメッセージ	ミュージアムの目的と使命を内外で共有し、その活動を改善、充実させていくためのロジックモデルと評価手法について学ぶ
ロジック 作成と 評価	佐々木亨 (対面)	北海道大学 特任教授	

12/5(木)	時間/講演者	テーマ	概要
グル ープ 討議 2	10:00～14:30	ミュージアムのロジックモデル - 作成	ミュージアム経営に欠かせない使命の策定と、活動と評価の指針となるロジックモデルの作成についてワークショップ形式で実践的に学ぶ。
	佐々木亨、文化庁博物館振興室、国立アイヌ民族博物館		
グル ープ 討議 3	15:00～17:00	ミュージアムのロジックモデル - 発表	同上
	同上		

12/6(金)	時間/講演者	テーマ	概要
博物 館法 改正	10:00～11:00	デジタルアーカイブ活用のための法と権利	博物館資料のデジタルアーカイブにかかる法的権利や処理・対応、デジタルヒューマニティーズの視点など、専門的見地から概説する。
	数藤雅彦 (オンライン)	五常総合法律事務所 弁護士	
	11:15～12:15	発展と充実のためのミュージアム経営	公益のためのミュージアム経営はどのように行われるべきなのか。国内外の動物園経営の比較から、これからの発展の一手を見出ししていく。
	佐渡友陽一 (対面)	帝京科学大学 准教授	

に 伴 う 重 要 事 項	13:30～14:30	探究心を育むデジタルアーカイブ	学校教育におけるデジタルアーカイブの活用実践を通して、新しい学びの創出とデジタルアーカイブの可能性について示していく。
	大井将生 (オンライン)	人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 特任准教授	
	14:45～15:45	博物館実務の法令とリスク管理	学芸現場において必要となる関係法令(銃刀法、租特法、ワシントン条約等)とリスク管理について、注意すべき場面と対処について概説する。
	山口俊浩 (対面)	文化庁 企画調整課 博物館振興室 建築資料調査官	
討議 閉講式	16:00～17:00	まとめ 質疑応答、全体討議	参加者全員及び文化庁職員による質疑応答